

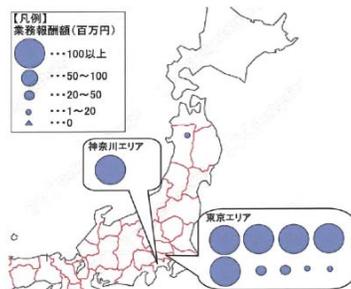
はじめに

CM賠償責任保険制度が発足して4年が経過しますが、制度普及活動の一環として保険の有効性に関する下記の二つのアンケートを実施しましたので、その報告を致します。当委員会では、発注者のリスク回避策として今後の賠償責任保険加入を条件とするケース増の可能性に備え、より充実した保険内容となるよう努めてまいります。

CM賠償責任保険加入者の加入動機に関するアンケート

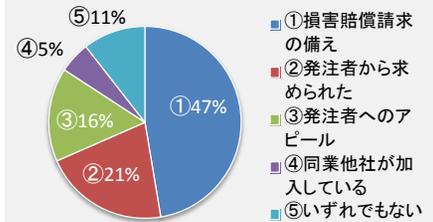
アンケート回答者11社の分布図

加入企業15社中、右記の11社から回答があった。



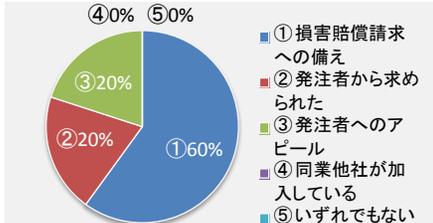
Q1 CM賠償責任保険のご加入動機は何ですか(複数回答可)。

約半数の企業がリスク対策、4割の企業が営業上の動機であった。



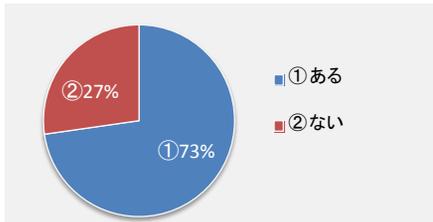
Q2 ご加入動機で一番重要だと思われるものは何でしょうか。

約6割の企業がリスク対策、4割の企業が営業上の動機であった。



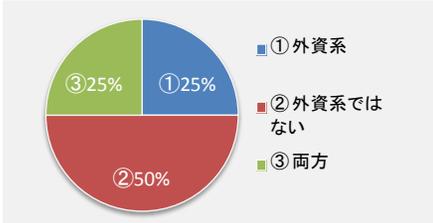
Q3 発注者から保険加入について問合せ、又は加入を求められたことがありますか。

発注者のリスク対策意識の高さが窺える。



Q4 設問3で「ある」とお答えの方にお聞きします。その発注者は外資系企業ですか。

保険加入に関心の高い発注者は、外資系だけではない。



CM業務における賠償責任保険加入条件に関するアンケート

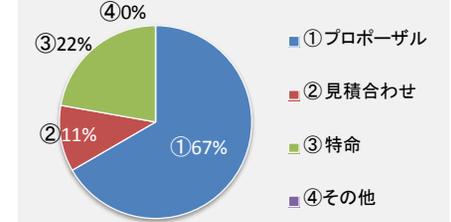
アンケート回答者

全会員へメール送信し、回答のあった企業は22社。その内、過去10年間で賠償責任保険への加入を業務委託条件として提示されたと回答した企業は5社であった。



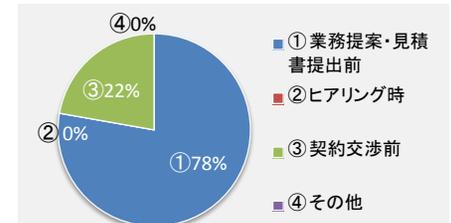
Q1 CM会社の選定方式は何でしたか。

加入条件提示を受けたプロジェクトのCM会社選定方式は、7割弱がプロポーザル方式であった。



Q2 保険加入条件の提示時期はいつですか。

CM会社決定前(見積書提出前、ヒアリング時点)条件提示がされている。



Q3 対象プロジェクト内容の傾向はなんですか。

発注者、建物用途、プロジェクト規模については、特段の傾向はみられなかった。

アンケート考察

- ・ 11社から回答を得た既加入者の加入動機では、営業上よりも自社のリスク対策が半数以上を占め、プロジェクトの一員としての責任がより厳格になってきている傾向が窺える。
- ・ 二つのアンケートから、国内を含めた発注者から賠償責任保険の加入を求められるケースの顕在化が窺える。